

年間テーマ ～ 平和を目指してともに歩もう ～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪大司教区  
社会活動センター・シナピス  
TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203  
Email/sinapis@osaka.catholic.jp  
ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

今月のテーマ

沖縄でこんなことが・・・

タイトル: 「祝福の食卓」  
作: 高木 郁乃莉 (当時 高校1年生)  
第1回シナピス主催絵画コンテスト  
ピース賞受賞作品

障がい者委員会担当 石井 望のぞみ

1945年5月5日に和歌山県龍神村とのほら殿原の山中に、日本軍の戦闘機紫電改に追撃された米軍爆撃機B29が墜落し、搭乗員11人中7人が死亡、パラシュート降下した4人の内2人は村内で警察に捕縛されて翌日御坊から大阪に連行されました。その時和歌山市内から疎開していたYYさんや近くの大應寺の住職の呼びかけで村人は山中に散乱した遺体を集め埋葬し、まだ戦争が終わっていない6月9日に、卒塔婆と十字架を立てて丁重に供養しました。戦時下でこのような供養が行われたのは中央大学の学生の調査によれば、「例外中の例外」だそうです。しかし、捕縛されたうちの二人は郡によって処刑されました。その一人は8月15日の午後にです。それ以来毎年5月5日に殿原地区主催で米軍兵士の慰霊祭として平和を祈る集いが行われています。今年は第79回になります。集いでは郷土史家FKさんのその後の調査で分かったこと、語り部の方の話、区長からは対立や戦争が激化する世界の中で平和のメッセージを発信することの大切さなどが語られ、参加者は近くの寺のご住職の読経、カトリック司祭司式で祈りとメッセージや聖歌「フランシスコの平和の祈り」を捧げました。祈りの後で、村の方が準備してくださった「茶粥」やたけのこご飯などをいただき、「餅撒き」もありました。和歌山県の小さな村から発信する「平和のメッセージ」です。



その思いを込めた歌「殿原の祈り」を下に掲載しました。  
(YouTubeで視聴することができます)

### 「殿原の祈り」(詞：古久保満璃子、曲：永剃房夫)

西の谷の清き流れを 朱に染めて  
戦に散った 若者の 悲しき叫び 伝えよう  
アメリカの兵士のみ魂 慰めん  
殿原の熱き想いを 伝えよう  
祈り続ける村人の心  
世界を包むほど 平和の祈りに つながれる  
いつの日か この地球に  
戦いのない まったき平和の訪れる その日まで  
殿原の思いよ届け 世の果てまでも  
何時の日かこの地球に  
戦いのない 全き平和の訪れる その日まで  
殿原の思いよ届け 世の果てまでも

## ニュースレター 目次

- 1 巻頭言
- 2 子どもたちに伝えたい平和
- 3 沖縄とキャバクラ
- 4 沖縄を再び戦場にしない!
- 5 ちょっと聞いて
- 6 入管法
- 7 リンさん無罪判決報告
- 9 ふくしま
- 10 障がい者委員会より
- 12 時報6月号より
- 14 ホームだより
- 15 祈りの集い報告
- 16 みんなのけいじばん
- 17 あとがき

## チラシ・ご案内

- ・シナピスの風
- ・6月の祈り
- ・わすれないあきらめないカレンダー
- ・第2回シナピス主催絵画コンテスト募集要項
- ・PTSDの日本兵と家族の思いと願い集会
- ・カトリック部落差別人権委員会講演会
- ・金剛山歌劇団
- ・大阪府立生野聴覚支援学校児童事故の障害者差別のない公正な判決を求める要請署名

### 年間テーマ

～平和を目指してともに歩もう～

身近なことから世界に至るまで、互いを思いやれないことで生じる衝突が後を絶ちません。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ 26:52)と言われたイエスの生き方に倣い、暴力に打ち勝つ強い信念をもち、交わりを通して互いを理解し尊重しあえる平和の実現を目指します。このニュースが皆さまといっしょに考え、わかちあいの場となることを願っています。

# 子どもたちに 伝えたい平和



## 「子どもたちに伝えたい平和～歩く速さで命を見つめる～」

いとうじゅん  
広島学院中学高等学校 伊藤 潤

私は広島学院で中高生に英語を教えるかたわら、生徒たちと演劇をしたりドキュメンタリー作品（『技能実習生はベトナムのお母さん(YouTube)』）を作っています。また、沖縄戦を通じて命の大切さを学ぶフィールドワークも行っています。今日はそのフィールドワークのお話をしたいと思います。

私が行っているフィールドワークの特徴は「歩く」ことです。テーマは「歩く速さで命を見つめる」。わずかな食料と飲料をリュックに詰め、三日間をかけて米軍上陸地点から「ひめゆり学徒」が命を落とした荒崎海岸までの 80 キロ歩きます。しかもグーグルマップ禁止。紙の地図を頼りに歩きます。戦跡や資料館を訪れたり、戦争体験者のお話を聞いたりしながらの歩く旅です。

最近ではデジタル機器や交通手段も発達し、とても効率的に平和学習ができますが、それでは心の中に平和や命の大切さの芽が育ちにくい気がしています。沖縄戦で亡くなった一人ひとりの命、無事に助かった人の命の使い方を見つめるのにデジタルや車の速さは速すぎます。人の歩く速さで見つめてこそ、ゆっくりと、確実に心の中に平和の芽が育つと思っています。実際に歩いた子どもたちの感想を一部紹介します。

- ・約 90 キロ、132,900 歩を歩いた。(中略) 沖縄県民の死者数ははっきりとはしていないが 12 万人から 15 万人と言われている。ということは、僕の踏みしめた一步一步の数と同じだ。そこに死体があったということだ。僕たちが歩いた地には一人一人の人間がいたのだ。
- ・ずっと山の中やサトウキビ畑の中を歩いてきたので(ゴール地点近くの)海が見えたとき、ほっとしたというか心が明るくなったけど、当時は絶望の海だったんだと気付いた。追い詰められた結果、もう逃げ場がなく南の端までやって来て…。今回、歩いているけど追体験だなんて言えない。
- ・最初は松葉杖で参加していた Y 君を気にしながら歩いていたが、疲れてくるとみんな Y 君を無視するようになった。僕もそうだった。『自分の中に冷たい自分がある』ことに気付いた。



松葉杖で荒崎海岸を歩く学生



元鉄血勤皇隊の方のお話を聞く学生

どれも歩いたからこそその感想だと思います。いま ChatGPT\* や Uber はとても便利です。でも、平和や命について学ぶ際にはそのスピード感は速すぎます。自分の心に種を蒔き、芽が出て、花が咲き、実を結ぶのには時間がかかります。歩く速さで命をみつめてみませんか。6月23日は沖縄慰霊の日です。命どう宝。

今年のオキナワを歩く Jr.は 12月24日(日)~29日(金)で予定しています。

\*ChatGPT：オリジナルテキストを生成することができる人口知能ツール



# 南西諸島で何が？

リゾキャバって知ってる??

リゾート地での  
キャバクラ勤めのこと  
時給はちょっと安いけど  
メリットは

初心者  
大歓迎!

寮完備

旅行気分を  
楽しめる

ノルマなし

交通費支給  
片道航空券も!

なにそれ？

リゾキャバ募集上位の場所は  
沖縄本島 石垣島  
宮古島 奄美大島…  
南西諸島の島々よ



へえ！いいことばかり！  
行きたい。どこにあるの？

ちょっと待って、  
この島のグループ、  
なんか気になる

今、盛んに  
台湾有事って言われている  
有事に備えるためには  
戦争の道具がいる

最近、自衛隊の基地や  
弾薬庫、ミサイルを  
配備している島々よ

弾薬庫やミサイルって  
戦争の道具でしょ！  
戦争が始まるの？

でも自衛隊が沖縄を  
守ってくれるんじゃないの？

台湾を挟んで戦争が始まったら  
最前線に立たされるのは  
南西諸島ってことか

一旦戦争が起こったら  
軍隊は住民を守らない  
沖縄や「満州」の歴史が  
物語っている

9・11の時は、沖縄の  
米軍基地の警戒レベルが  
跳ね上がったよね

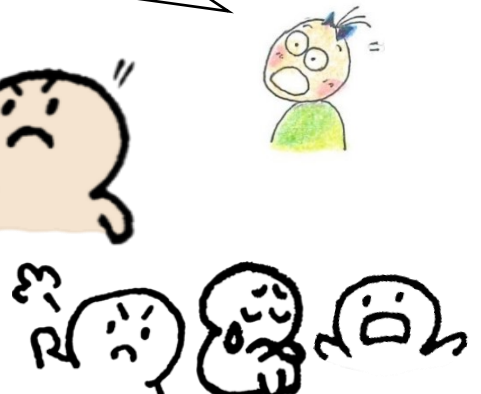
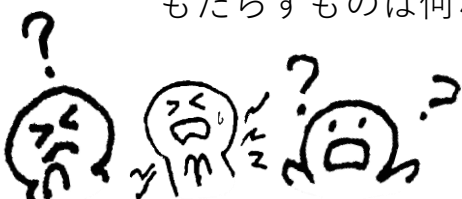
あの時、本土の学校の  
ほとんどが沖縄修学旅行を  
中止したね

一番最初に攻撃されるのは、  
一番危ないのは、基地のあるところ  
だと分かっているんだ  
戦争や戦時体制下では、  
大勢の女性たちが性暴力を受けている  
今のウクライナでも

有事になったら、住民は  
もちろん、旅行気分のリゾ  
キャバの人たちも巻き込まれる  
んじゃない?!

台湾有事というけれど、  
有事を作り出しているのは誰？  
有事で苦しむのは誰？  
有事を起こさないのが  
政治なんじゃないかなあ

南西諸島の軍事化が  
もたらすものは何なのか、考えなくちゃ







## 沖縄を再び戦場にしない！

シナピス事務局 みぎ ともこ 右 知子

シナピスの職員になるまで、私にとっての「沖縄」は、リゾート観光地、小学生の頃米軍キャンプ内にホームステイをした思い出の町でしかありませんでした。それがシナピスで働き始め、ニュースや祈りの集いを通して沖縄の歴史や現状を知り「沖縄」に対する思いが変わりました。楽しかったホームステイの思い出がある米軍基地がもたらす深刻な問題、また本土に住む私たちが沖縄に基地を押し付けて暮らしていること、なぜ辺野古新基地建設に反対するのか、沖縄の人の思いをもっと知りたいと思うようになり、先日「辺野古ねーねーずが海風にのってやってくる」というイベントに参加しました。

辺野古で抗議活動をするねーねーずは、米軍普天間飛行場の名護市辺野古沖移設に反対し、2014年7月7日から座り込みをはじめ9年間辺野古ゲート前で非暴力の抗議活動をしています。イベントが始まってすぐ「今日は沖縄で県民大会があり、参加する予定だった一人が急遽そちらへ行くことになり参加出来なくなりました。みなさん、大阪では大阪府民大会はしますか？府民大会と聞くと運動会か何かを想像しませんか？」と言われました。沖縄では基地問題に絡み、数千人、数万人が集う県民集会在いたるところで開かれているということです。また、選挙や県民投票率は70%を超えるのに、県民の声は政治に反映されないそうです。「基地は縮小するどころか、基地が無かった先島諸島（さきしましよとう）に自衛隊が入りどんどん基地をつくり、ミサイルやPAC3（地对空誘導弾パトリオットミサイル）の配備まで進め、「まるで戦争の準備をしているようだ」と先の戦争経験者の94歳のおばあは言っていると言われました。

「なぜ基地に反対するのか、それは海を守りたいから、税金の無駄遣いだけではなく、戦争につながるから、未来のこどもや孫に基地を押し付けることはできない。辺野古ゲートを守る沖縄県警、機動隊の人のいのちも守りたいという思いだけです」と言われました。

テレビや新聞では、自衛隊駐屯地開設やミサイル配備のニュースを見ていましたが、「実際にミサイルを載せたトラックが弾薬庫に向かって街の中を走るのを見る」と聞いた時にはゾッとしました。もしこれが大阪や東京の街中だったらどうだろうか、絶対に住民は反対するはずだし、もっと大きなニュースになるはずです。沖縄だから良い、先島諸島だから良いということは決してないはず。沖縄県内でいくら県民集会をしても政府にその声が届かないのなら、その声を全国各地で上げ政府に届ける必要があると切に感じました。

なかでも印象に残った話に、県外から辺野古ゲート前の抗議活動に参加した人が、ゲートを守る沖縄県警の体格の良い男性に「デブ、死ぬ」と発言したことがあったそうです。私はこのエピソードを聞いて、こういう発言から戦争に発展していくのではないかと思いました。この時はその場にいた沖縄の方が心からお詫びをし、その方も「自分たちは何も言い返すことができません」と言って大事にはならなかったそうです。沖縄県警の方も決して戦争はしたくないはず。自分たちのいのちを守りたいはず。そういう思いを汲んで、立場は違えど再び沖縄を戦場にしない、という強い思いで活動する人たちの声が政府に届くよう私も大阪から声を上げていこうと思います。

OKINAWA OKINAWA OKINAWA OKINAWA OKINAWA

# ちょっと聞いて

教会共同体のみなさまのさまざまな取り組みをご紹介します。「ちょっと聞いて」「聞かせて」そんなふれあいの場になったらいいと思います。

## 「ピース9の会釜ヶ崎」を始めて

おおたいたとこみ (援助修道会)

はじめまして！私たちは2021年3月に教会の仲間5人で毎月9の日に、地下鉄四つ橋線の花園町交差点でこの行動を始めました。コロナ禍の時は度々休むこともありましたが、また逆に去年の参議院選挙の時はほとんど毎日のように、岸田政権の「敵基地攻撃発言」ではなく、「平和憲法9条」を守る人に投票しましょう！と呼びかけました。そして先だつての5月9日は26回目の街宣行動でした。毎回交差点を渡る方々へ『9条守ろう』の署名を一筆お願いします、とマイクを通して大きな声で呼びかけます。写真のオレンジ色のバナーは大きくて目立ち、通る人はちらっと見てくれます。

私たちは平和憲法9条を特に若い人に関心を持ってもらえるようにと、マイクで話しかけます。外国ではよく反政府デモで、若者が道路に溢れかえっているのをTVで見かけますが、日本の若者は路上に出てこないなと、将来がとても気がかりです。昔話題になった「シールズ」の奥田君たちは今どうしているのだろう。私たちの「9の日行動」は夕方の5時から6時なので時々中高生も多く通りかかります。一度などは珍しく中学生の男の子たちが10何人署名板に集まって、話にならずき、署名もしてくれ嬉しかったです。

ところで改憲に意欲を示す岸田政権ですが、この行動をしてもなんでこんなことをするのかとつかかってくる人は稀です。ウクライナ危機が続き、台湾有事も無視できない私たちの国ではありますが、国民の中から盛り上がる声があれば9条の改憲はとても無理な気がします。日本では「国民投票」の経験がまだありません。一度してみてもはどうでしょうか、結果はNOと出るのはではないと思いますがー。





# 緊急報告!!



5月15日、日本カトリック司教団の署名運動の報告を携えて、ペルー人ネリさんの娘のMさんが衆議院議員会館で記者会見を行いました。

いま、通常国会では、出入国管理及び難民認定法(以下、入管法)の審議が行われています。4月に始まった衆議院での修正協議のなかで、政府・与党は、在留資格がなく退去命令を受けている子どもや親に対する在留特別許可(在特)の検討の考えを示しました。

去る4月28日の衆議院法務委員会での審議の際、「両親の帰国と引き換えに、子どもの在特を認める教示を入管から受けた家族がいる」との質問に、齋藤健法務大臣は「そのような運用は行っていない」と答弁しました。しかし実際に親が強制送還され子どもだけが在特を認められた人たち、また、親の帰国を迫られている子どもたちがいるのです。当事者たちはこの答弁に傷つき、困惑を深めています。

いま、通常国会では改定入管法の審議が行われ、すでに衆議院で可決され、現在参議院で審議が進められています。そこで、移住者と連帯する全国ネットワークは、5月15日に衆議院議員会館にて記者会見を開き、日本で生まれ育つ子どものいる家族に、一日も早い在留許可が認められるよう求める声明を発表しました。

また同日午後には、野党の参議院議員らが「難民問題国対ヒアリング」を開き、仮放免の子どもたちの生の声を聴いてくれました。アピールしたのはクルド難民の子どもたち8人と、ネリさんの娘Mさんでした。

自分の存在を否定された状況に置かれる子どもたちの訴えは、国会議員たちの胸に響いたと信じて、国会審議のゆくえを私たちは見守っています。





# リンさん無罪! 署名が最高裁を動かしました!

夙川教会信徒 にしぐちのぶゆき  
西口信幸

ベトナム人技能実習生レー・ティ・トゥイ・リンさんに最高裁の無罪判決が出ました。  
リンさんは2020年11月19日、死体遺棄罪で起訴され、2023年3月24日、最高裁の判決によってやっと解放されました。シナピスを通して賛同署名を頂いたみなさんに感謝申し上げます。

最高裁での勝訴は、私たちが声を共に出すことの力を示す機会になりました。しかしながら、この最高裁判決にもかかわらず技能実習生制度は改善されないまま、判決の出た直後の4月にまた新生児の死体遺棄事件が東広島で起きてしまいました。去年3月までの5年間で、妊娠や出産を理由に実習を中断した人が1434人います。多くは適切な情報、指導もないまま、帰国することになっています。2019年に入管庁は注意喚起の文書、「お知らせ」を出しています。(下記参照)

この注意喚起内容を実施していれば多くの実習生が実習を継続できたはずですが、正しい情報も知らされずに、借金を残したまま実習を諦めて帰国する人がほとんどで、何回も同じような悲惨な出来事が起きています。技能実習制度は人身売買に相当するとして国際的にも非難されています。

リンさんは女性の人権を軽視する日本の技能実習生制度の問題点を法場に投げかけられましたが、必要な労働力の確保はしつつも外国人を排除する方針を貫く出入国管理庁が「移民庁」のような存在に変わらない限り、これからもこうした問題は無くならないでしょう。日本の国力が減少していく中、私たち日本人に突きつけられた課題です。キリスト者の視点から共に考え直していければと願っています。

実習実施者  
監理団体 各位

平成31年3月11日

2019年3月11日

法務省入国管理局入国在留課  
厚生労働省海外人材育成担当参事官室  
外国人技能実習機構

妊娠等を理由とした技能実習生に対する不利益取扱いについて  
(注意喚起)

## 妊娠中の技能実習生のみなさんへ

大切なお知らせ

(日本語)

- ・日本では、妊娠したことで解雇することは法律で禁止しています。
- ・送出機関や監理団体は、あなたの妊娠を理由に、**あなたに帰国を強制することは許されません。**
- ・解雇されそうになったり帰国するよう言われたら、**外国人技能実習機構(OTIT)へ相談してください。**OTITが支援します。※連絡先は裏面を見てください

## レー ティ トウ イ リン さん コメント

私が逮捕されて、ようやく本日、最高裁の無罪判決を聞き、本当に心からうれしいです。これまでの2年4か月は、本当に長かったです。犯罪者として報道され、ネットやSNS上の書き込みに何度も心が苦しめられ、心が折れかけました。そのたびに、多くの支援者や弁護士の先生らに慰められ、励まされ、希望を見出して今日まで頑張ることができました。ご支援いただいた皆さんへ心より感謝申し上げます。

これまで頑張り続けられたのは、決して遺体を放置したり、隠したりしていない私の真実に加えて、妊娠を誰にも言えずに苦しんでいる技能実習生や、一人で出産せざるをえないすべての女性のためにも、無罪を主張したかったからです。

多くの技能実習生が監理団体や実習先から暴力や暴言など圧力をうけ、約束が守られずに、苦しめられています。技能実習生は人間です。私たちが守られ、安心して働け、人間としての価値観を生きられるよう、技能実習生制度を変えてほしいのです。

本日の無罪判決により、私と同様に、妊娠して悩んでいる技能実習生や女性らの苦しみを理解し、このような女性は、捕まえたり、刑罰を加えるのではなく、相談でき、安心して出産できるような環境で保護される社会に日本が変わってほしいと願います。

## 佐久間 順子 さん (コムスタカー外国人と共に生きる会事務局長) コメント

本当にたくさんの方が応援してくださり、関心をもってくださり、協力があったからこそ、リンさんの無罪が勝ち取れました。

リンさんが、妊娠を監理団体や実習実施者に相談していたら、解雇され帰国させられていたと思います。孤立出産をした女性に対して、擁護対象者ではなく犯罪者としてあつかってしまう日本社会のため、リンさんは逮捕起訴され、戦い続けなければなりません。

リンさんは、親としての愛情で行った行動に間違いはなかったと信じ、ずっと無実を訴え続けました。逮捕された当初、メディアも犯罪者という扱いでしたが、リンさんが無罪を主張し続ける中で、少しずつ理解が広がりました。リンさんのおかげで、妊娠した技能実習生を送り返すことは許されないという考えが浸透してきました。

心からリンさんには感謝したいです。ありがとうございました。

今回無罪判決がでたことで、現在の矛盾と問題に満ちた技能実習制度を廃止して、外国人労働者を単なる労働力ではなく、妊娠出産もする生活者として受け入れる制度になっていくと期待します。

## 監理団体・実習実施者の皆様へ

大切なお知らせ

### 妊娠を理由に技能実習を一方向的に終了することはできません

- ・妊娠、出産等を理由とした解雇や不利益取扱いは法律で禁止されています。
- ・送出国が技能実習生との間で、妊娠等を理由として帰国することを約束することは許されません。
- ・技能実習生から妊娠を伝えられた場合には、監理団体・実習実施者は技能実習生と話し合い、技能実習生の希望も踏まえて必要な対応をしてください。

第10回「いのちの光 3.15 フクシマ」実行委員会主催講演会  
「フクシマが背負ってきたもの伝えつづけるもの」 会場:仙台教区元寺小路教会

子ども脱被ばく裁判原告代表・元原発労働者 このすみお 今野寿美雄さんのお話

はらけいこ  
シナピス事務局 原慶子

18歳から日本各地にある原発を回り、点検、建屋のメンテナンス作業に従事してきた今野寿美雄さん。

作業のための足場組み、コンクリート壁の塗装、なんでも自分たち作業員でやってきた。線量の高い場所ではストップウォッチをもって走り、被曝しないように注意しながら作業をする。

あの日、2011年3月11日は女川原発おながわでいつものように仕事をしていた。寒く、雪の予報が出ていた。3時まで仕事をして山の中腹にある事務所にいた時、地震に遭った。長い揺れがおさまったタイミングで窓を開けて外へ飛び出した。仲間が発電所から車に乗ってこちらに逃げてくるのが見えた。そして海に目をやった。満潮をむかえようとしていた時間だった。水平線から白波が立っているのが見えた。それは見る見るうちにこちらに向かってきて、港の船や家屋を飲み込んでいった。やばい。



原発施設は津波の被害には遭ったが比較的高いところに位置していたので、浸水したのは2号機の原子炉建屋の地下3階。また、1号機をのぞく2、3号機は外部電源を失うことなく原子炉の冷却は維持できた。

福島第一原発の事故を知ったのは12日。原発からわずか10キロのところに家族と暮らす家があるが、通信手段が遮断されてしまい連絡がとれない。

「とにかく、早く逃げてくれ」と祈るしかなかった。自分が一緒にいられない、それが悔しく苦しかった。どうにか連絡をとることができたのは震災から4日後の3月15日。茨城に避難していた家族の元へタクシーと電車を乗り継いでやっとたどりついた。再会した時に息子の第一声は「パパ足がある」だった。その日は私の誕生日だった。

もうあの浪江の自宅には戻れない。覚悟した。この世の地獄だ。原発事故によって生活は一変した。女川の街の3分の2の2400世帯が流された。死者行方不明者は827人。今は福島の避難先の復興公営住宅で家族と暮らしている。

福島第一原発が水素爆発を起こした時、暴走すると人の手に負えないものなんだということを痛感した。

「この日本で一番最初に原発をどこにつくろうとしていたか皆さんご存知ですか。……」

広島です。広島に造ろうとしていた。でも広島からは猛反対があり、断念したんです」

原発にはなんとしても原子力を利用した原発をつくるために国は土地を探していた。第二次世界大戦時に双葉町、大熊町にある特攻隊の訓練場として接收した莫大な土地に建設したのだ。

現在、福島浜通りでは福島県の事業「福島イノベーション・コースト構想」と呼ばれる未来の研究のための施設、「軍事産業開発」が着々とすすめられている。そのひとつにシナピスニュース5月号で触れた伝承館がある。地震、津波、原発事故を伝承していくという謳い文句ではあるが、この「イノベーション・コースト構想」を発信し宣伝するのが目的だ。ドローンの滑走路のあるロボットテストフィールド、浪江町には世界最大級の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」が2020年2月に完成し稼働している。国から100億円と言われるお金が動いている。「浪江はロボットの町になった。人間が近づけない、そんなものをつくっているんだ」

帰宅解除されたけれど、線量が高くてとてもじゃないけど子どもたちを帰宅させられないと、断腸の思いで自宅は解体されたそうです。国が推進する原発が、これだけ人のいのちや暮らしを犠牲にしているにもかかわらず人よりも経済を優先し、さらに戦争への道を邁進していることに怒りを覚えた。



## 「メタファー（<sup>いんゆ</sup>隠喩）なのか」を読んで

大阪大司教区障がい者委員会編

月刊シナピスニューズレターVol.83 2023年4月号の5ページに掲載された宮永<sup>みやながひさと</sup>久人さんの「メタファー（隠喩）なのか」の記事に対して、障がい者委員会にたくさんの人から感想や意見が寄せられました。順不同でご紹介します。

- 「メタファーなのか」を読ませていただきました。読んでいるうちに胸に熱いものを感じました。神父さんへの批判も私には気になりませんでした。
- どんな読み手にも書き手の意図が伝わるように、易しい言葉づかいをおすすめしたいです。内容には賛同します。
- 神父様も人なので意見もさまざまでしょうが、弱い立場の人や苦しむ人に寄り添っていかうと考えたら、ものの言い方も違ってくるのではと思います。
- 誌上論争をしたいのならば N 氏ではなく 実名を挙げた方が良いと思います。匿名ならば、「ある教会」、「ある司祭」、「ある信徒」という表現がいいのでは。内容はすごくいいと思った。後は表現だけです。（注：その後、宮永さんは正義と平和委員会のJP通信に実名で投稿されました）
- 宮永さんが一番言いたいのは、「メタファー化は眼前にいる障害者・病者の実存を見落とす結果となる」というところでしょうか。
- 教会がもっと障がいや病を抱えた方の声を聞き、そこから神さまの導きを識別する大切さを学ぶことができれば良いですね。
- 「救いの歴史に基づく見方（救済史観）に即して障害者の主体性の回復に重点をおいた現代的な解釈がなさるべきである」の主張、全くその通りと思います。もっと詳しく教えてほしい。連投を望みます。
- キャッシー・ブラック師著の「癒しの説教学」を読みました。伝統的な説教と癒しの説教を対比させながら書かれて、すごく参考になりました。
- 「エッフアタ！」も良かったです。

参考文献① 癒しの説教学——障害者と相互依存の神学

著者：キャッシー・ブラック

訳者：川越敏司、飯野由里子、森壮也

発行：株式会社 教文館

参考文献② エッフアタ！——教会共同体のろう者

著者：教皇庁 保健従事者評議会

訳者：日本カトリック聴覚障害者の会

発行：カトリック中央協議会



## 「オリーブの集い」から

精神・発達症（障害）者自助グループのメンバーが、12ステップ（※1）に従い書かれた自分史を紹介します。

著者「お山の大将」  
おやま たいしょう

僕の母はね。親離れをようせん、頼りない少女でしたよ。動物飼ったりね。本読んだり。ままごとみたいなことしかようせん少女でしたよ。読書ねえ。今でこそ聞こえはいいですけどね。当時にすれば「オタク」。そんなカ・トンボみたいな少女がね。私学の一貫校に入った。

まあ伸び伸びしよってね。刺繍だの何だのね。散々やりよった。友達もたくさん出来てね。花の青春時代。就職してからも社交ダンス習いよってね。楽しみ方向にアホほど貪りよった。そういったプラス思考に進んだらね。なんぼでも才能を伸ばせること知ってよりましたよ。

なのでね。僕ら子供にもね。それをやらしよった。義務で何かをやらせようとはしなかった。しかしその、楽しみ方向の貪り、はなんぼでもやらしよった。そんな母ですよ、うちの母は。

しかしまあ、いいおふくろ、とは言い難かった。こっちが友達と喧嘩してね。友達のことグチグチ言おうとしてもね。大事に至りそうにないことだったらね。それ以上聞きよらん。袋の役ようしよらん。これには困った。

母にとっぴり甘えた記憶がない。なのでね。小学校2年ぐらいの時ね。うちの家の玄関先で近所の子とつかみ合いの喧嘩しだしてね。その子の下になってしまった時ね。母が近づいてきた。僕ね。「ヤバ」と思いましたよ。挟み撃ちや！と。

しかしね。母、僕の味方だった。形勢を逆転しましたけどね。つまりね。僕はそれぐらい母を信用していなかった。そんな不安を抱えながらね。大きくなりましたよ。

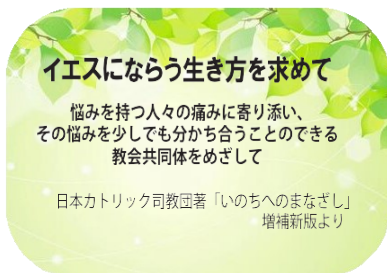
母が僕とどういう関わりを持った人か知りたくてね。僕はしょっちゅう母を試みた。「いる、いらん」とか言ってね。母が切れるまでそれを繰り返す。そんな甘えをね。しょっちゅうやりましたよ。どこまでもたれかかれるのか、いつも試してた。そりゃ、切れた時の母ね。本気で怒りよった。すごかったですよ、その怒り。普段は穏やかなんですけどね。噴火した時はもう収まらない。

（※1）12ステップにはいろいろあります。「お山の大将」さんと実施しているのは、

1ステップ：認める、2ステップ：信じる、3ステップ：参加する、4ステップ：書く、5ステップ：話す、6ステップ：変わる、7ステップ：謙虚になる、8ステップ：誤る、9ステップ：購う、10ステップ：回心する、11ステップ：祈る、12ステップ：実践する。

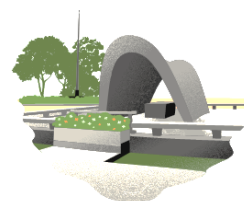
# 平和旬間

8月6日(広島原爆の日) ～15日(終戦記念日)



戦争は人間のしわざです。

戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。



(教皇ヨハネ・パウロ二世)

教皇ヨハネパウロ二世は「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です」「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことです」と述べ、私たちに再び戦争が起きないように力を尽くそうと訴えられました。

このアピールから42年経った今でも、戦争は途絶えることがありません。私たちの生きる東アジア諸国でも、大国間の利害がぶつかり、いつ戦争に巻き込まれてしまうかわかりません。今年も、決してあきらめることなく平和な社会を築いていく担い手になれるよう、祈りとともに歩んでいくことが出来る平和旬間になりますように。

1981年、教皇ヨハネ・パウロ二世は、平和の使者として訪れた広島で平和アピールを発表した。  
1982年、日本の教会はこのメッセージを受けて、8月6日～15日までを「日本カトリック平和旬間」と定めた。

— わたしたち一人ひとりが平和のつくりびと —

## 2023 教区平和旬間テーマ

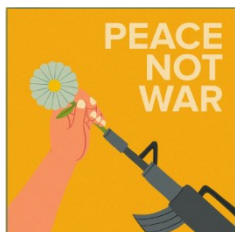


「希望をもってともに歩む Let's hope and walk together  
～あきらめずに目を覚ましてStay awake, never give up～」

今年は「シノダリティ（ともに歩む教会のため ～交わり 参加 宣教～）」の精神を持って行動する年です。

平和旬間のテーマはこの「シノダリティ」と「世界平和の日」教皇メッセージからヒントを得て、戦争と平和の視点から考えられました。

「ともに」対話すること、とりわけ外国籍の方、戦争体験者の方の話を聞くことが大切です。コミュニケーション不足が目立つ今、全ての人と一緒に生き、お互いの言葉に耳を傾ける世の中が平和に近づくこととの願いがこめられています。また、日本と世界の現実には希望が持てない状況ですが、あきらめず現実をしっかりと見つめ、「ともに」祈ることも求められています。そのために外国籍の方にもわかりやすく英語表記もいれました。





## 各地区、ブロック、小教区での企画準備が進められています。

企画するにあたり、ヒントがあればぜひ欲しいという声が多数寄せられました。  
過去に取り組まれた中からいくつかご紹介します。

### 絵本を通して平和を考える

朗読、スライド、子どもも大人も一緒に紙芝居をつくり当日わかちあう。



戦時中の食糧難を思いおこすために「おにぎり」を各自持参して体験者の話を聴く。  
すいとんをつくって食べる。



写真や証言を通して戦争に触れる解説に英訳などをつけると外国人とも共有できる。



戦争と平和の経験、生き方、考え方などのアンケートを事前にとってわかちあう。



こんな集いにしたいね！

国籍、世代を越えた  
集まりにしたい！

ひとりでも多くの方が  
参加できる集いにしたいな

少子高齢化だし、隣の小教区と一緒にできるといいな。



### 世代間でのわかちあい

質問しあったり、話をきいたあとにメッセージの交換をする。

パネラーによるスピーチリレー  
共同開催にして、各教会からスピーチしてもらいわかちあう。  
教会間のつながりもできる。

期間中に図書コーナーを設ける  
近隣の戦争遺跡を巡る  
多言語で平和の思いを伝え合う  
歌や演奏を通して平和を考える  
平和学習の発表  
最近の世界の情勢を取り上げる  
核なき世界基金について



# シナピスホーム便り

## シナピスホーム訪問記

今回はお客様の声をお届けします

— 在留特別許可を求める子どもと歩む会 めくもり —

K.D

4月22日(土)、環状線「桃谷」駅から、昭和の雰囲気が懐かしい商店街を歩いて、シナピスホームカフェを初めて訪問しました。

毎月1回土曜日に、難民移住者の方がランチを提供して下さるというので、カフェ“開店時間”の11時を目指して到着すると、難民移住者の皆さんと日本人スタッフさんが笑顔で出迎えてくださいました。



ここシナピスホームは、空き家になっていた修道院を難民移住者の皆さんが清掃・修繕し、2020年12月2日に誕生したそうです。元聖堂には美しいステンドグラスが、壁には十字架の道行きがあり、修道院だった名残りをしっかりとどめており、棚にはシナピスグッズがならび、絵本コーナーもあり、世代を問わず楽しみ、リビングのようにつろぐことができる場となっていました。

“本日のメニュー”は、スリランカ出身のクマリさん(仮名)担当の、「ピリヤニ」。「ピリヤニ」は、スパイスが程よく効いた羊肉の旨味たっぷりのピラフ(カレーとも言えるかな?)。食べてしまうのがもったいないほどかわいい、ミニトマトときゅうりで作った芸術的サラダ、それにほんのリレモン風味のする冷たいお水。



食後には、「お飲み物」のリクエストも聴いてくださり、「昆布茶」、「紅茶 with レモン」、「コーヒー」などを本格的マナーでサービスしていただき、すべてに温かい心遣いが添えられており、感激しました。

お昼近くになると、次々にお客さんが来られ、あちこちで交流が行われました。

お客さんの「おいしい!」「ありがとう!」という言葉で、苦しい生活を強いられている難民移住者の方もその時だけでも癒されるなら嬉しいと思いました。

難民認定されない人や在留資格を求める人びとは、生活の保障を受けられないまま、不安と恐怖を感じながら認定を待つ生活をしています。シナピスは、彼らの生活を支える活動をしながら、地域の方にも彼らの現状を理解していただくために、シナピスホームを開放し、カフェメニューは全て無料で提供して下さっています。



土曜日 13時~16時(ドリンクメニューのみ)

(月に一度)11時~16時(ランチを提供)

在留資格のない方は働くことが許されていませんので、カフェ利用者から「代金」をいただくことはできませんが、カフェの運営は利用者からのご寄付で賄われ、玄関に置いている寄付箱に寄付金を入れることになっています。

「教会などでのバザーで、彼らの作ったお菓子や料理を販売できるといいな!」と思いながら、ほのぼのとした温かい気持ちになって帰途につきました。

# 5月祈りの集い



第20回シナピス主催オンライン祈りの集いを5月11日(木)に行いました。5月は聖母月、「聖母マリアの取次ぎを通して世界平和を祈る」というテーマで、松永敦神父にメッセージを頂きました。

絵画の解説を通して平和や、信仰、神と繋がることの大切さをお話し下さいました。中でも印象に残ったのは、ウクライナの子どもたちが描いた戦争前後の絵画の比較でした。戦争前、色彩豊かにキーウの街並みを描いた少年が、戦争後には白、黒、赤、の3色で苦しむ顔をした人間たちを描き、美味しそうなフルーツや野菜を売るマーケットの様子を描いた少女が、手足をもぎ取られ義手や義足のような物をつけ、横腹にナイフが刺さった人の絵を描いていました。子どもがこどもらしい絵を描いていたのに、こんな絵を描かせてしまってはいけない、弱い立場におかれている人がさらに弱い立場になるような戦争は絶対におこしてはいけないとお話下さいました。

その後、世界の宗教画の紹介があり「絵画からは時間や空間に左右されない、当時の人たちの感謝と賛美、何かを願う気持ちが伝わってくる」「私たちは平和を考える時、この世の中のことを見る前に、まずは賛美と感謝を捧げ、イエスといつも繋がっているかどうかを振り返ることが必要である」と言われ、ヨハネ福音書15章5節「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」を味わい、聖母マリアへアヴェ・マリアの祈りを捧げて終わりました。

「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える」(ヨハネ14章27節)この言葉通り、平和な社会になるよう一人一人が行動を振り返り考えさせられる時間でした。

次回は6月8日(木)20時半～

テーマ：「沖縄のために祈る」

Zoom参加↓↓↓

ID: 761 071 2034

パスコード：123456





## みんなのけいじばん

### ピース9 憲法講演会

#### 「安保3文章と憲法9条」

【日時】6月10日(土)13時半～15時半

【参加費】無料

【場所】札幌教区カトリックセンター(北1東6)

【講師】清末 愛砂(きよすえ あいさ)さん

【RAWA(アフガニスタン女性革命協会)と連帯する会】  
共同代表

【開催方法】対面および Zoom(申込締切 6月9日)

【主催・お問い合わせ】

ピース9の会月寒

ピース9の会はまなす

TEL:090-2875-6674(松永)

Email:chinimei123@gmail.com



### 署名のお願い

「大阪府立生野聴覚支援学校児童事故の  
障害者差別のない公正な判決を求める  
要請署名」

先月号でもご案内した上記署名の集約期間が

6月末に延長されました！

みなさま、

どうぞ拡散、呼びかけをお願いします！

詳細は同封の署名用紙をご覧ください。

集約先:

公益社団法人大阪聴力障害者協会

〒537-0025

大阪市東成区中道 1-3-59

大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター3階

### カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク 第9回勉強会

#### 「まず知ることから」

【日時】6月24日(土)13時～17時 【会場】エル大阪 7階 701 会議室 【参加費】無料

【講師】白野倫憲(しらの ともりの)さん[大阪市立総合医療センター 感染症内科部長]

【導入】平良愛香(たいら あいか)さん [HIV/AIDS デスク委員、日本基督教団牧師]

【開催方法】対面および Zoom(対面定員 50名)

【主催・問合せ】カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 TEL:03-5632-4414 FAX:03-5632-7920

E-mail:hiv aids@cbcj.catholic.jp URL:http://cath-aids-desk.jp



### RINK 主催

#### 通訳者・相談員スキルアップ講座

【日程】6月17日(土)・7月1日(土)・15日(土)・29日(土)・8月26日(土)

【時間】13時～17時 【会場】エル大阪

【参加費(資料代)】 全5回参加 4,500円 / 1回のみ参加 1,000円

【定員】(ご来場)30名 (オンライン)定員なし

【お申込み・お問い合わせ】

RINK TEL:06-6476-8228(月～金 14時～17時) FAX:06-6476-8229

E-mail:rink@a.email.ne.jp

## PCの修理をいたします!!

不具合を起こして故障したままのパソコンはありませんか。シナピスに修理のできる技術者がいます。ご相談ください。



### <お詫びと訂正>

本ニュース 5 ページ掲載の「『ピース9の会釜ヶ崎』を始めて」の執筆者大田伊杜子さんのお名前のルビに間違いがありました。正しくは「おおたいとこさん」です。

### 活動へのご支援ご協力

よろしくお願ひいたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしくお願ひいたします。

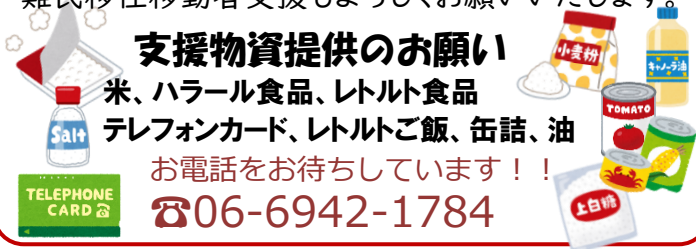
### 支援物資提供のお願い

米、ハラル食品、レトルト食品

テレフォンカード、レトルトご飯、缶詰、油

お電話をお待ちしています!!

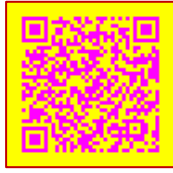
☎06-6942-1784



### シナピス公式

さまざまなお知らせや情報を発信!

友達追加は QR コードから



HPはこちらから

<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

ニュースレター配布停止ご希望の方はシナピスまでお知らせください。

あとがき

5月27日の琉球新報に掲載されていた若者のアピールが強く印象に残った。沖縄県北谷町で「島々を戦場にすな! 沖縄を平和発信の場に! 5・21 平和集会」が行われ2000人が集った。25歳の阿利さんは「子や孫のために声を上げ続けた先輩方に感謝した上で、わたしたちは子どもたちを育て社会を担う世代。平和な生活は、心の中で願うだけではなく、実際に行動することで実現する。若者は関心がないと責めないでほしい。私たちが信じてほしい」と訴えた。わたしたちは、「若者がいない。若者は関心がない」とつい自分の責任をどこかへ置いて、ばやいたりしてはいないだろうか。

広島学院の生徒が、米軍が沖縄に上陸してから荒崎海岸まで下って行く80キロを歩く体験をした。時間をかけて平和への道のりを一步一步、歩いていく姿を想像する。目指す先は同じでも「ともに歩む」とは、「同じことを、同じように」ということではないのだと思う。(H)

## ▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

### ◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

### ◆大阪教区・社会活動委員会との連携

### ◆学習会研修会の企画

### ◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

### ◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

### ◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

### ◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

### アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区事務局内



### ●公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄長堀鶴見緑地線玉造 1 番出口より約 800m

### ●車でお越しの場合

阪神高速 13 号東大阪線法円坂出口

法円坂交差点南へ上町を東へ

### 活動へのご支援ご協力をおねがいます

☐郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

☐三井住友銀行 玉造支店 普通 9401958

カトリック大阪大司教区 シナピス

代表役員 前田万葉

☐オンラインはこちら →→→





地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。

イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピス年間テーマ ～平和を目指してともに歩もう～

# シナピスの風

\*行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第159号 2023年6月1日発行

## 6月の祈り

「平和をもたらす人は幸いである。  
その人たちは神の子と呼ばれる」  
父なる神よ、  
イエスからいただいたこのことばは、  
わたしたちの歩みを支え、  
わたしたちの行動を問いかけています。  
平和は人間の心からの願いです。  
ただ、それを守るために  
時々誤った道を選ぶのです。  
平和を守るために戦争に備える考え方  
もっている人々は少なくありません。  
対話を中心に置いて  
ひたすら平和を求め、  
「非核」、「非暴力」の道を  
大事にしたいのです。  
わたしたちの歩みを照らしてください。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
アーメン



シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターと  
ともにお送りしております。教会で、ご家庭で、  
日々のお祈りにお使いください。  
シナピスのホームページからも、ダウンロードし  
ていただけます。

### シナピス オンライン祈りの集い

～世界の平和のために祈る～

6月9日(木) 20:30～(30分)

テーマ: 沖縄のために祈る

Zoom 開催  
ミーティング ID: 761 071 2034  
パスコード: 123456

## シナピス カフェ

★毎週土曜日 13時ごろ～16時ごろ  
6月の開催: 3日, 17日, 24日  
☆予約不要

★月1回土曜日 11時ごろ～16時ごろ  
6月の開催: 10日 軽食付き  
☆要予約

シナピスホーム:  
大阪市生野区中川 6丁目 6-23  
☎ 080-8940-8847

### 感染症医療現場からのメッセージ

『まずは知ることから』

日時: 6月24日(土) 13時～17時  
場所: エル・大阪 7F 701 会議室  
講師: 白野倫徳(しらのみちのり)さん  
(大阪市立総合医療センター感染症内科部長)  
開催方法: 対面 50名、Zoom  
参加費: 無料  
主催・申し込み  
カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク  
TEL: 03-5632-4414/FAX: 03-5632-7920  
E-mail: hiv aids@cbcj.catholic.jp

### 第2回シナピス主催絵画 コンテスト作品募集中!

◇テーマ 平和  
◇対象 18歳以下の方  
◇締め切り 8月31日 17時

8月には平和旬間があります。  
家族や友だちと、平和について考  
えるきっかけにしてみてください。  
入賞作品はシナピスニュース表紙に  
掲載します!

詳しくはシナピスHPへ

### 第2回 シナピス主催 絵画コンテスト 作品募集!

日本のカトリック教会では8月6日～15日までの期間を、特に平和について考える日(平和旬間)と定めています。平和についての思いを絵画で表現してみませんか。

テーマ: 平和  
対象: 18歳以下の方  
締め切り: 8月31日 午後5時 (郵送・持参可)

賞金  
★大賞 賞状1名 (賞状授与) 前賞1名 (賞状授与) 5000円  
★シナピス賞1名 (賞状授与) 前賞1名 (賞状授与) 1000円  
★ブリス賞3名 (賞状授与) 前賞1名 (賞状授与) 500円

※入賞作品はシナピスニュース表紙に掲載されます。(掲載費未定)  
※応募者全員に参加賞をお送りします。

シナピスニュース 10月号

カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス  
〒540-0004 大阪市生野区中央區玉造 2-24-22  
TEL: 06-6942-1784 FAX: 06-6920-2203

### カトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター

#### 学習会のお知らせ 対話集会

【ネット人権侵害と部落差別の現実】を深める

日時: 6月24日(土) 14:00～17:00  
場所: サクラファミリア  
発題者: 長崎 壮 神父

昨年11月23日開催の対話集会(発題者川口泰司さん)をより理解し深める学習会を長崎神父の報告に添って行います。「差別をしない社会から差別をさせない社会を!」目指して

☎075-366-6609  
✉buraku@kyoto.catholic.jp

### ＝ボランティア大募集中!＝

ミシンで縫物をしてくださる方を募集しています。シナピス工房の作品作りをお手伝いしてください。自宅での作業も大歓迎です。  
ご興味がある方はシナピスまでご連絡をお願いします。

### ☆シナピス工房メール会員募集中!☆

最新のカタログが出来次第お送りいたします。

登録希望のメールアドレスから  
下記メールアドレスへ連絡もしくは  
右側のQRコードからご登録ください。  
メールアドレス: sinapis@osaka.catholic.jp

### 支援のお願い

感謝

パスタ、体温計はおかげさまで沢山のご協力をいただきました。  
日持ちのする食品、ハラル食品、食用油、米、カップ麺、テレホンカードなどのご支援をお願いいたします。



「点訳版」「音訳」  
ご希望の方はシナピスまで  
お申込み下さい。